

2020年7月吉日

日本ことわざ文化学会会員各位

会長：渡辺慎介

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。本日は、11回目となる本学会の総会と大会について、例年とは異なる様式にて開催する旨をお知らせします。

その主な理由は、新型コロナウイルス感染症の拡大にあることにご賢察のとおりです。現在は第2波の到来が取り沙汰されるなか、その先の第3波を封じウィズ・コロナ時代の新しい生活様式への模索が続いています。

身心ともに健康であることをベースにした市民生活を取り戻し、社会における経済・社会活動を一刻でも早く復活させることは、誰しもが願うところです。しかし、何をどうすることが正解なのかは、軽々に判断することはできません。

このような困難な時期であるからこそ、世話役の私たちは自粛による萎縮を解き、明日につながる活動のあり方を検討してまいりました。その結果、三密を避け、できるだけ短時間で所期の目的を達成するために、以下のようなスケジュールを策定しました。

○ **第11回総会**…9月26日(土)14:30~14:50

(月例会…引き続き 15:00~17:00)

○ **第105回月例会** (スペシャルバージョン) …10月10日(土)

「世界ことわざフォーラム」 (縮小版)

○ **第11回大会**…11月7日(土)13:00~16:50 (研究発表+シンポジウム)

総会と大会の詳細は添付ファイルにまとめました。ご参照ください。なお、遺憾ながら大会における研究発表の公募は、本年の特殊事情から断念せざるを得ませんでした。発表を予定されていた皆さまには深くお詫びするとともに、月例会など次の機会にお声がけいただければありがたく思っております。

先行きが不透明な昨今ゆえに、会場を借用する明治大学の方針など、やむを得ない事由により行事の開催ができない時には、メールやホームページ等でお知らせします。その場合、総会における承認事項はメール等にてお伺いし、対面による開催は中止します。結果につきましては11月7日（土）の大会開催日に会長が挨拶の中で言及します。

さらに、大会が中止になった折にはメール等にてお知らせし、併せて総会の報告をいたします。なお、大会におけるテーマや一連の内容は、鬼に笑われようとも来年に持ち越す予定にしております。ご理解ください。

以上、お知らせでした。ご健勝にてご活躍ください。